

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 井上ひさ子 記入日 11 月 20 日

所属政党 日本共産党 選挙区 手稲区

<アンケート回答記入欄>

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例:①)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1.	②	自分個人では地域で一生を過ごすのは、望ましいことですが、いろいろの事情により入所が必要となる可能性があります。
Q2.	①	社会参加を目指す必要があり、それは保証するべきである。法令によって「サークル」を制限するべきではない。
Q3.	①	衣類負担は、予算外である。抑えては、若くは高齢で、小規模作業所が利用可能である。
Q4.	①	公共交通の利用は、難しいといえる。また、大変な状況で、通学、通所、通勤、仕事など。
Q5.	①	私ども、なかなかないけれど、障がい者高齢者の、とりわけ危険な箇所があります。
Q6.	①	本人、家族の意見を尊重し、支援を行うべき。専門職の先生の配慮も重要である。
Q7.	①	市とい、厚労省の、かかる必要があります。
Q8.	①	早急の、実態の把握をすべきです。また、いかに支援の大切と、思っています。
Q9.	①	札幌市も福祉の、精神をいかに、制度を、行なうべき。
Q10.		24時間情報相談センターと結び、精神科救急センターの設置を、議会でもとめてほしい。実現のため頑張ります。